



人生の最初の教師

校長 西宮 良雄

表題は、ある提言の表題ですが、この文言を目にする度に、私は思わず肩をすぼめたい気持ちになります。

以下に、その提言の一部を引用いたします。

教育という川の流れの、最初の水源の清冽な一滴となり得るのは、家庭教育である。学齢期までの子どものしつけは父母の責任と楽しみであり、小学校入学までに、既に生活の基礎的訓練を終えて社会に出るのが任務である。すなわち、家庭においては父や母の愛と庇護とその決定権のもとにおき、団体行動に従えること、あいさつができること、単純な善悪をわきまえること、我慢することなどの基礎的訓練を終えることとし、それが不可能な子どもに対しては父母だけに任せず社会の叡智を集めて外部から助けるべきである。なぜなら子どもは、一軒の家庭の子どもであると同時に、人類共通の希望だからである。通常子どもは誉められることと、叱られることとの、双方に親の愛情を感じる。誉められるばかりの子どもは、しばしば叱られるために悪いことをするようにさえなる。しかし叱る場合にも、親は心理的余裕と、その教育的効果を落ち着いて判断できる状態にいななければならない。

また子どもは、父と母を本当は尊敬したいのである。故に父が直面している生活の厳しさ、その成功例と不成功例は、共にたいいてい子どもが深く愛する話となる。父の職場を家族に見せる気運を社会に望みたい。また家庭にあるときの母は、一つの重厚な存在感として子どもの心に残る。父も母も理想ではなく、人間の存在のあかしとして認識されれば、それで家庭教育は成功したのである。両親は、子どもが最も理解しやすい、人生で最初の教師である。(原文まま)

上の引用文は、中央教育審議会委員を務めた作家の曾野綾子さんが、平成12年に出した教育改革国民会議の「日本人へ」と題した呼びかけの一部です。私が、この呼びかけを目にする度に、肩をすぼめたい気持ちになるのは、一言で言えば、反省の思いが湧いてくるからです。

しかし、私自身の反省はさておき、12年前に出されたこの曾野さんの呼びかけに、現在も、日本人の一人一人が謙虚に耳を傾けることはとても重要なことと思います。

子供の教育は、家庭・学校・地域社会の三者が一体となつて、有機的な結合による力強い教育力を形成して当

たることが最も効果的と考えますが、子供の教育の最終の責任者はやはり親であることは間違いのないことと思います。

ところで、去る11月10日に行われた道徳授業地区公開講座の講演会に参加された方から、以下のようなご意見を頂きました。

「講師の先生が、『優しくされたら、どんないいことがあるか話し合ってください』とおっしゃられていたので、家で話し合いました。いろいろな意見が出て、最後には、娘が『いいね3組』になると、と言いました」

(『いいね3組』は1年3組のクラス目標です)

「講演会は、貴重なお話でした。学校だけでなく、地域や家庭と連携して、子供たちの道徳心を育てていかなければなりません、こういった会に参加する方が非常に少ないのはとても残念なことだと思いました。」

「講演会は、大変勉強になりました。(中略)学校(の道徳の授業)で学んだことを、地域や家庭で使わなければ道徳心は育たないことにも共感しました。せっかく土曜日に講演会を開いて下さっても、参加人数が少ないのは残念に感じます。」

参加者が少なかったことを指摘する趣旨ではなく、上のご意見を寄せて下さった3人の方は、子供の道徳心も含めた健全育成のためには、学校だけに教育を任せるのではなく、三者が連携し、そして最後は家庭教育の中で、親としての責任を引き受けていこうとする覚悟を表明してくださったのだと思い、ご紹介いたしました。

学校教育の負うべき責任を転嫁する気持ちは毛頭もありませんが、「早寝・早起き・朝ご飯」(習慣形成のためには「先ず早起き・早寝・朝ご飯」が理想です)に象徴される基本的な生活習慣の確立、社会で生きていく上でのルールを守る規範意識や遵法精神の醸成、善悪の判断、他者への思いやりや憐憫の情などの人間としての自然な情操、などはやはり家庭教育の中で、一番の大本が育まれるのだと思います。

年末・年始を迎える時期となりましたが、ご家族が一家団欒の水入らずの楽しいひと時を過ごす機会でもあり、改めて家族の在り方を見つめる良い機会でもあると存じます。

その機会に、私も含めて、曾野綾子さんのこの日本国民全体への呼びかけを、改めて真剣に受け止めていきたいと思ひます。

生活目標 「学校をきれいにしましょう」

あいさつ目標 『ありがとう』 言えばとってもいい気持ち

言われればもっといい気持ち

保健目標 「風邪の予防に努めよう」 給食目標 「あいさつをきちんとしよう」

ドリームハッピーについて

12月8日は、土曜授業ですがドリームハッピーのため、児童が多数校舎内を移動しますので、保護者の参観はできません。ご理解よろしくをお願いします。

平成24年 12月行事予定

1	土	
2	日	
3	月	避難訓練 委員会活動
4	火	音楽鑑賞教室（5年）
5	水	教育会一斉研究日
6	木	
7	金	ドリームハッピー前日準備
8	土	ドリームハッピー（4時間授業）
9	日	
10	月	
11	火	社会科見学（5年）
12	水	
13	木	個人面談
14	金	社会科見学（6年）
15	土	
16	日	
17	月	個人面談
18	火	個人面談
19	水	
20	木	個人面談
21	金	安全指導日 個人面談
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	大掃除
26	水	冬季休業日 始
27	木	
28	金	
29	土	
30	月	
31	火	

学年の窓～3年生～

3年生は11月22日(木)に初めてのバスでの校外学習となる社会科見学に行ってきました。3年生の社会科の学習は主に自分たちの住んでいる練馬区の地域学習となっています。今回は石神井ふるさと文化館、土支田農業公園、ベジふるセンター、そして練馬区役所を見学し、学習した内容を深めてくることができました。

教室ではなかなか学べない働く人々の姿や練馬区の様子などにふれることで、子供たちの興味関心もとても高まっていたようでした。各施設では質問コーナーの時間がたりなくなったり、しおりに記入するメモ欄がいっぱいになってしまったりという様子も見られました。

今回見学した中でも、特に子供たちに人気が高かったのが石神井ふるさと文化館でした。この施設では、昔の暮らしについての実物が展示してあるのですが、見たことのない古い電化製品や住宅などを珍しそうに見学していました。無料で見学できる施設ですので、休日にご家族で見学に行かれるのもおすすめです。

今回身に付けた見学のマナーを、今後予定されているスーパーマーケット見学や4年生以降の校外学習に活かしていけたらと思っています。

1組 服部 澄夫

2組 本條 禎之

ドリームハッピー

12月8日(土)にドリームハッピーが行われます。1年生から6年生までがいるたてわり班でお店屋さんごっこをします。準備から当日の仕事分担まで、子供たちで考え、活動します。6年生は、最上級生として責任をもって班をまとめ、行動します。また、下級生は、自分の役割に気付き、積極的に参加し、協力し合うことをねらいとしています。

今年度は、17店舗のお店がそれぞれに工夫して「はてなボックス」や「ボールキャッチ」、「買い物ゲーム」などを行う予定です。お子さんが、どのようなお店をつくるのか、ぜひ、聞いてみてください。

なお、今年度も昨年と同様、保護者の参観・参加は行いませんので、ご了承願います。